

## 2-2 公民館活動方針

### はじめに

小学校区にほぼ1館設置している本市の公民館は地域に密着した運営と事業展開により、様々な年代の市民に利用されており、社会教育と地域活動の拠点として大きな役割を担っています。本市の公民館活動は多くの町村が合併した1956年(昭和31年)ころから活発となり、以降、組織的な教育活動や継続的な学習活動が広がり、住民自治と地域社会の発展に寄与してきました。

近年、社会環境が急速に変化しています。予測困難な時代を歩んでいくには、一人一人が変化を前向きに受け止め、未来を自立的に生きていくことが求められています。とりわけ新型コロナウイルス感染症の対応において、本市の公民館では、学びを止めないことの重要性を早期に再認識し、新しいものを取り入れたり、工夫して活動したりしながら、変化に順応し、その息吹を絶やすことなく動き続けてきました。今、その経験を強みとし、新たな扉を開こうとしています。扉の向こうに描くのは、だれ一人として取り残さない、社会教育が励みと豊かさとする意欲を地域とそこに暮らす人にもたらす「ウェルビーイング(身体的・精神的・社会的に良好な状態)」の社会です。この社会の実現のため、長きにわたり培われてきた力を支えに、趣味や教養にとどまらず、地域課題から現代的課題まで多くの学習機会を提供するとともに、多様な年代、多彩な属性の人々と関係する機会を生みながら、学びを通じた「人づくり、つながりづくり、地域づくり」を進めていきます。さらに、様々な課題を自分事として捉えられる人材や意識を育てるため、国連が提唱する「地域に根差した持続可能な開発のための教育」(ESD)の取り組みを意識した事業を展開していきます。

#### ESD 評価～nadeshiko view～ 5つのポイント

項目	評価のポイント
気づき	自分の周りに様々な課題や繋がりにあることに気づけたか。
未来	どんな未来にしたいか考え、望む社会を思い描けたか。
自分事	関心があったり、自分にできることが分かったりし、行動しようと思えたか。
様々な視点	互いを認め合いながら、様々な視点で物事を考えられたか。
協力	協力することを楽しみを感じ、成果が生まれたり、新しいことが創造できたりしたか。

## 多様な学習事業の具体的展開

地域の特性を生かしながら、これまで培ってきたものに新たな手法を取り入れ、多様な学習機会をより豊かに創出していきます。また、すべての学習事業で「平塚版 ESD～nadeshiko view～」による評価を実施、その取り組みを検証していきます。

### 1 地区公民館共通事業

#### 【家庭教育学級】

核家族化や地域のつながりの希薄化等を要因とした家庭の教育力の低下が指摘され、教育基本法において家庭教育の重要性が謳われていることから、乳幼児や小中学生の親が相互の交流を図り、家庭教育の大切さを理解されるよう、子どもや親を取り巻く諸問題等に関する講座を開催します。

また、家庭教育の重要性を踏まえ、全公民館の事業として、平塚市PTA連絡協議会と共催で、家庭教育講演会を開催します。

#### 【シニア学級】

シニア世代を対象に、新しい時代に即応した生き方やシニアの役割等の学習をはじめ、趣味、創作、社会活動に関する講座の開催を通して、積極的な姿勢で社会変動に対処する能力を養っていきます。

また、これまでデジタル機器に触れる機会の少なかったシニア世代にデジタルディバイド(デジタル機器利用者との格差)の解消が図れるよう、デジタル機器の操作方法やルールを身に着ける場を設けていきます。

#### 【児童・生徒地域参加事業】

異なる年齢の児童・生徒が集団における役割分担や協働意識を学び、文化への趣味、関心を深められるよう、集団活動、自然の中の遊びと鍛錬、文化、地域住民との交流に関する講座を開催します。

#### 【地域をつなぐ連携事業】

地域課題の解決を目指し、地域内の個人・団体・企業など様々な主体と連携した事業を実施します。

## 2 地区公民館自主事業・ブロック事業

地域の課題を解決するため、地域住民の自発的、自主的な学習意欲を支援する事業を展開します。  
また、幅広い学習機会を創出するため、参加対象者の区域を広げたブロック( 1)協働による事業を実施します。

1...市内の公民館を東西南北のグループで分けた単位 1ブロック6館または7館

## 3 中央公民館事業

### 【市民大学・市民アカデミー】

市民が継続的・専門的な教養を高め、芸術及び文化に関する知識・技能を習得できるよう、座学を中心とした講座「市民大学」と、体験や実習を交えた講座「市民アカデミー」を開催します。

### 【ひらつか地域づくり市民大学】

住みよい地域づくりを進めていくための人材育成や地域活動に携わる人材のすそ野を広げ、協働社会の基礎をつくれるよう、課題解決に向けた取り組み方などを学ぶ講座を実施します。

## 職員研修

公民館職員として意欲を高め、自ら積極的に学び、それを行動に移すことで地域の力を引き出せるよう、地区公民館長・公民館主事・公民館事務員を対象とした研修を実施し、資質向上を図ります。

また、社会教育主事を中心とした公民館課題検討部会を組織し、事業展開や管理運営に関する諸課題の解決に向けた研究をしていきます。

## 地域の人材発掘・活用

地域人材の発掘や、地域の方の特技を生かす場をつくるため、地域活動サポート人材登録制度「知恵袋バンク」を推進します。

## 地域と学校のつながりづくり

地域と学校が相互にパートナーとなり、子どもたちの「未来の創り手となるために必要な資質・能力」を育めるよう、学校と課題を共有しながら、地域の魅力を知る講座や伝統を体験する講座等を実施し、子どもたちが地域の人や魅力に触れる機会を創ります。

また、地域学校協働活動を推進するにあたり、研修・研究や日々の地域交流を通し、公民館主事のコーディネート力を高めていきます。

## 情報発信の充実

地区公民館が定期的に発行する「公民館だより」において、生涯学習や地域の情報を積極的に発信します。また、市ホームページでの「公民館だより」掲載や事業の募集・結果報告を掲載するほか、ちいき情報局と連携を図り、情報発信の充実に努めます。